

# 琵琶湖に生息する「固有種」

<sup>こゆうしゅ</sup>「固有種」とは、ある国や地域に限って生息・生育する動物や植物のことをいいます。

「深くて大きな安定した環境」と「他の水辺から独立している」という特徴を持つ古代湖では、湖の環境にあわせて生物が進化したり（初期固有種）、他の場所では減ってしまった生物が生き残ったりする（遺存固有種）ことで「固有種」が生まれやすくなります。琵琶湖では、現在66種が確認されています。最も多いのは貝類で、29種が確認されています。

## 縄文人も食べていた「セタシジミ」

セタシジミは、琵琶湖だけに生息する固有種の貝です。



しじみご飯やお吸い物などで食べられる、とても美味しい貝です。琵琶湖のほとりには2万6千年前頃（後期旧石器時代）から人が暮らしていたと言われ

ていますが、縄文時代の貝塚からは沢山のセタシジミの貝殻が見つっています。

ちなみに貝塚からはほかにも「どんぐり、トチ、ヒシ」などの木の実や、フナや

ナマズ、イノシシやシカ、スッポンの骨なども見つっています。豊かな自然のめぐみに支えられた縄文の人々の暮らしの様子が伝わってきます。



瀬田町漁協では今も、瀬田川で伝統的な漁業の「しじみ掻き漁」が行われています

# 琵琶湖に生息する「固有種」

琵琶湖の魚にも、固有種が16種います。

琵琶湖固有の魚はニゴロブナで作る「ふなずし」に代表されるように、琵琶湖の周りに住む人たちに美味しく食べられ「食文化」を生み出してきた、とても身近な存在でした。



実は今、琵琶湖固有の魚が全て「絶滅」を心配される状況にあります（次のページにまとめました）。

その原因は人間の開発によって大きく湖の環境が変わり、産卵場所である「ヨシ原」がなくなったり、水田とのつながりが失われてしまったこと。外来種による影響や水質の悪化など、様々な問題が起きています。琵琶湖の「固有種」は長い時間をかけて育まれた宝物。琵琶湖から消えてしまったら地球上からいなくなり、二度と元に戻すことはできません。どうすれば守れるのかぜひ考えてみてください。

# 琵琶湖に生息する「固有種」

環境省や都道府県では5年に1度、生物の絶滅の危険性に関する情報を調査し、まとめています。

2020年の結果では、琵琶湖に生息する固有種の魚は全て「絶滅の危険性がある」とされています。

中でも「絶滅危惧 I A類」「絶滅危惧 I B類」とされた種は、近い将来での絶滅の危険性が特に

高いとされています。

|    | 名前            | 環境省レッドリスト | 滋賀県レッドデータブック |
|----|---------------|-----------|--------------|
| 1  | ビワマス          | 準絶滅危惧     | 要注目種         |
| 2  | ワタカ           | 絶滅危惧IA類   | 絶滅危惧種        |
| 3  | ホンモロコ         | 絶滅危惧IA類   | 絶滅危機増大種      |
| 4  | アブラヒガイ        | 絶滅危惧IA類   | 絶滅危惧種        |
| 5  | ビワヒガイ         |           | 希少種          |
| 6  | スゴモロコ         | 絶滅危惧II類   | 希少種          |
| 7  | ニゴロブナ         | 絶滅危惧IB類   | 希少種          |
| 8  | ゲンゴロウブナ       | 絶滅危惧IB類   | 希少種          |
| 9  | ヨドゼゼラ         | 絶滅危惧IB類   | 要注目種         |
| 10 | ビワコオオナマズ      |           | 希少種          |
| 11 | イワトコナマズ       | 準絶滅危惧     | 絶滅危機増大種      |
| 12 | ビワヨシノボリ       | 情報不足      | 分布上重要種       |
| 13 | イサザ           | 絶滅危惧IA類   | 絶滅危惧種        |
| 14 | ウツセミカジカ（琵琶湖型） |           | 分布上重要種       |
| 15 | オオガタスジシマドジョウ  | 絶滅危惧IB類   | 絶滅危惧種        |
| 16 | ビワコガタスジシマドジョウ | 絶滅危惧IB類   | 絶滅危惧種        |

